

かけはし



今年度 終了！

3月に入り、日差しも暖かくなり、草木の芽が膨らみ、学校の裏の天神山からはウグイの鳴き声も聞こえるようになりました。

先週の19日には、55名の6年生の卒業式が行われました。すべての卒業生の顔が輝いていました。中学校でのさらなる活躍が楽しみです。

24日には、1年生から5年生までの修了式が行われます。学習では、各学年で学習した内容を確実に身に付け、不安なく進級できるように取り組みました。また、委員会活動や係活動では、一人一人が自分の仕事に責任をもって活動できるように支援してきました。

4月から、1つ上の学年に進級します。これまでの学校生活をもとに、さらに勉強や係活動、運動に「笑顔いっぱい」で取り組むことを期待しています。

一年間を振り返って

校長 桐倉 孝夫

4月7日、校庭で行った着任式。311名の子供たちと初めて会ってから、本当にあつという間の1年間でした。この1年は、充実した、楽しい1年でした。

地区別に行った授業参観、市内の子供たちが集まった唯一の行事である小学校体育大会、早朝からグラウンドを整備して行った運動会、活動内容を見直して実施した校外学習、天神山でのマラソン大会、リモートで行った読み聞かせ活動、学力検査、6年生を送る会・・・・。コロナ禍で、中止になる活動も多かったですが、活動内容を工夫して実施したいいろいろな活動を通して、子供たちは大きく成長してくれました。



活動を制限されることはありましたが、学校としてできることを考えて教育活動を実施してきました。そのような学校教育の中で見せる子供たちの笑顔は、コロナ前と同様にすてきなものでした。学校だより「かけはし」で紹介した「笑顔いっぱい」にその姿を多く記載することができました。コロナ禍でも、柔軟に、そして、しなやかに対応して成長していく子供たち。改めて、子供たちの無限の可能性を感じました。

子供たちが「笑顔いっぱい」で学校生活を送ることができたのは、もちろん保護者の皆様のご協力があったからこそです。この一年間の保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。令和4年度も、ご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。